


# 東京都災害廃棄物処理 支援事業記録

・・・東日本大震災に伴う支援活動・・・

平成 26 年 3 月

 東京都環境局



## <目次>

### はじめに

#### 第1章 事業スキームの構築 (P2~3)

- 1 受入方針
- 2 予算の確保
- 3 事業実施要綱等の制定

#### 第2章 事業開始までの経過記録 (P4~6)

- 1 災害廃棄物の処理基本協定
- 2 都内民間施設の受入準備
- 3 都内清掃工場の受入準備

#### 第3章 災害廃棄物処理支援の記録 (P7~47)

- 1 災害廃棄物受入処理の全体の概要
- 2 搬出自治体別災害廃棄物の受入事業記録
  - (1) 岩手県宮古市混合廃棄物（建設混合廃棄物、廃機械・機器類） : P10
  - (2) 宮城県女川町可燃性廃棄物（木くず等） : P14
  - (3) 岩手県大槌町混合廃棄物（建設混合廃棄物） : P20
  - (4) 宮城県石巻市廃畳、混合廃棄物（建設混合廃棄物） : P24
  - (5) 岩手県釜石市混合廃棄物（建設混合廃棄物、漁網系混合廃棄物） : P32
  - (6) 岩手県陸前高田市混合廃棄物（建設混合廃棄物） : P37
  - (7) 岩手県山田町混合廃棄物（廃プラ系混合廃棄物） : P41
  - (8) 岩手県大船渡市混合廃棄物（漁網系混合廃棄物） : P44

#### 第4章 培った広域処理のノウハウ (P48~56)

- 1 被災現場の対応
- 2 広域輸送システム
- 3 都内自治体・民間事業者との連携

### 最後に



## はじめに

平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震等による東日本大震災では、死者約1万8千人並びに行方不明者約3千人、建物被害が全壊、半壊及び一部損壊を合わせてで約116万戸という大規模な被害があった。また、この地震や大規模な津波によって発生した災害廃棄物は、岩手県で通常の約9年分、宮城県で通常の約14年分に相当する、合計約1,500万トンに達していた。こうした大規模な被害を受けた被災地では、街中ががれきが散乱し、復旧・復興のためには、この膨大な災害廃棄物の迅速な撤去及び処理が急務になっていた。

そこで、東京都は、全国に先駆けていち早く受入表明を行ったが、平成23年11月2日に岩手県宮古市藤原埠頭仮置場から都内に向け災害廃棄物が搬出され、翌日の3日には民間処理施設に到着した。この日から、本格的な災害廃棄物の広域処理が開始され、それ以来、東京都は、岩手県の6市町、宮城県の2市町から災害廃棄物を受け入れた。

平成26年2月21日に行った岩手県大船渡市の災害廃棄物の受入れをもって、東京都の災害廃棄物処理支援事業が幕を閉じ、岩手県・宮城県の災害廃棄物は、目標期間である平成26年3月までに処理が終了した。

ここで、東京都が岩手県・宮城県で発生した災害廃棄物の処理を支援してきた経過や、この経験で培ったノウハウを以下に記す。

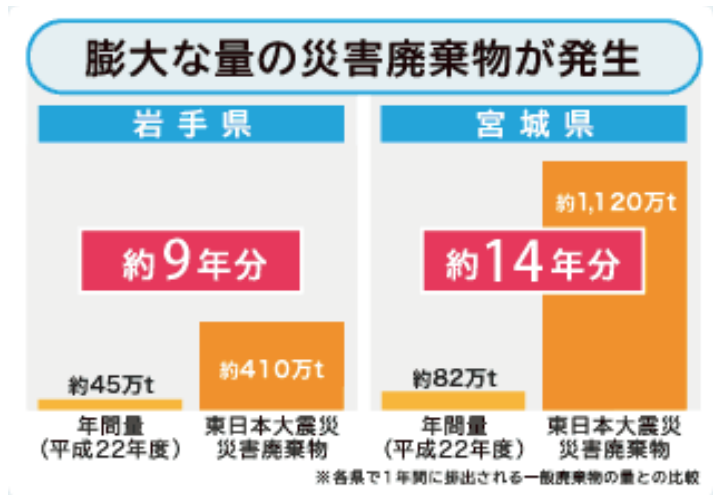


図0-1 災害廃棄物の発生状況 (出典：環境省)



図0-2 岩手県宮古市災害廃棄物